

36.南城市地域公共交通再編実施計画

【南城市概要】平成18年1月1日に、1町3村(佐敷町・知念村・玉城村・大里村)の合併により誕生。人口:43,688人、世帯数:17,344世帯(平成29年2月末現在)。県都那覇市から南東へ約12kmに位置し、北は与那原町、西は南風原町、八重瀬町にそれぞれ接している。(南城市役所 HPより抜粋) 市域には、久高島があり、離島航路運営等補助を受けている。

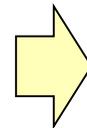
- 市内各地から那覇方面への路線バス(幹線バス)を運行
- 市内の移動は自家用車、タクシー及びデマンド交通が担う

再編の考え方1 公共交通網のハブの整備

再編の考え方2 定時・速達性の高い幹線バスの導入

再編の考え方3 ハブとまちの拠点等を結ぶ支線バスの導入

- 路線バスは原則、市役所バス停発着に**集約**
- 市役所バス停を起点に新たに**支線バスを運行**
- 離島航路と支線バスの接続**
- デマンド交通は支線バスを補完



主要交通

- ・幹線バス(3社、15系統)
- ・市内全域(一部高校まで)デマンド運行
- ・離島航路との接続なし

主な再編ポイント

【幹線系統】

- ・支線への切り分け
- ・重複路線の統合
- ・重複区間の時間調整

【支線系統】

- ・新設
- ・離島航路との接続
- ・通園・通学バスとの統合

【デマンド交通】

- ・車両の小型化
- ・支線系統との運賃差別化